

受診時定額負担導入などの中止 を求める医師要請にご協力ください！

会員の先生方 各位

2016年12月13日

東京保険医協会 会長 鶴田 幸男

安倍政権は年明けの通常国会で、医療・介護の患者負担増計画の強行を狙っています。厚生労働省は11月30日、高齢者に大幅な負担増を迫るとりまとめ案を提示しました。社会保障制度審議会の医療保険部会では、日本医師会や高齢者団体代表などが、患者負担増に懸念を表明し、反対意見が相次いでいる状況です。

負担増計画を撤回に追い込むため、東京保険医協会として緊急に『会員署名』に取り組むことといたしました。署名は1月26日(木)の国会要請行動で提出し、国会議員に直接届ける予定です。

1次締切は、**12月20日(火)**とさせていただきます。

先生方のご協力をよろしくお願いたします。ご一緒に声をあげてまいりましょう。

▼▼▼ 下記にご署名(ゴム印可)のうえ、FAXにてご返信ください ▼▼▼

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
国会議員 殿

1次締切 12/20(火)

受診時定額負担導入などの中止を求める医師要請

- 一、外来受診時の新たな定額負担を導入しないこと
- 一、70歳以上の患者負担限度額(高額療養費)を引き上げないこと
- 一、後期高齢者の保険料軽減制度(低所得者等向け)の廃止をしないこと
- 一、入院時の居住費、食事代、光熱水費などの患者負担を拡大しないこと
- 一、湿布薬、うがい薬、痛み止め、漢方薬などを保険からはずさないこと
- 一、介護利用料の引き上げをはじめ、介護分野の負担増をしないこと

私の一言

住 所 : (ゴム印可)

医療機関名 :

氏 名 :

【返信先】東京保険医協会行き >>> FAX 03-5339-3449

【問合せ】東京保険医協会 新宿区西新宿3-2-7-4F(杉山、盛、市川) TEL: 03-5339-3601